

NaRiKa

取扱説明書

理科実験用 IH コンロ IH-4N

Cat. No. G40-2653

ご利用の手引き



このたびはナリカ製品をご購入いただきありがとうございます。

本製品を正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

また、この説明書は必要な際に閲覧できるように保管をしてください。

安全上の注意

※IH コンロの取扱方法に関しては、IH コンロに付属の取扱説明書をご覧ください。

- ・加熱中、加熱後の IH コンロ、および保温用容器は大変熱くなっています。やけどにご注意ください。
- ・複数台を 1 教室でご利用の際は、ご契約アンペア数をお確かめの上ご使用ください。ブレーカーが落ちる可能性があります。詳細は、「複数台ご使用の場合の注意」をご覧ください。
- ・破損しますので、落下にご注意ください。
- ・保温用容器には、水以外を入れしないでください。
- ・保温用容器に水を保存しないでください。塗装の剥がれやさびの原因になります。
- ・保温用容器を使用後は、乾燥させて収納してください。

はじめに

本製品の目的と特徴

細かく温度設定のできる IH コンロと保温用容器のセットは設定温度を目安に保温できるので、ガスコンロ使用時のような温度調節の煩わしさがありません。

また、低温での保温・加熱ができるので、実験時の湯せんに非常に便利です。

実験内容や気温等によって、IH コンロの設定温度と保温用容器内の湯温とは多少違います。正確な温度の湯を作りたい場合、別途温度計を使い、かき混ぜて 1℃単位のボタンで温度を調整してください。

知っておいていただきたいこと

複数台を 1 教室でご利用の際は、ご契約アンペア数をお確かめの上ご使用ください。

本製品は、最大消費電力 1,000W です。初期設定のまま使用した場合、1 台で 10A を使用します。

たとえば 一部屋 40A の契約の教室なら

$10A \times 4 = 40A$ ですので、使用できるのは 4 台までとなります。

使用台数が多い場合は、契約アンペア数を超える場合がありますので、ご注意ください。

なお、IH コンロ本体のセーブ機能で最大出力 1000W・700W・450W を選べます。(1 つのコンセントは最大 1500W まで使用可能です。)

製品内容

理科実験用 IH コンロ	1 台
保温用容器	1 個
アルコール温度計 (−5~+105℃)	1 本



製品仕様

◆IH コンロ

- 定温モード：温度調節範囲：30～90℃ 1℃単位で設定
(保温は 60 分)
- 加熱モード：弱～強の 10 段階
(最終操作 60 分後オートパワーオフ)

定格消費電力：1000W

出力設定：1000W/700W/450W

大きさ：205×205×50mm

質量：約 1.5kg

電源：AC100V (50/60Hz)

コード長：約 1.8m

◆保温用容器

大きさ：約 285×165×125mm

容量：1.4 リットル

材質：アルミニウム合金 (本体)、内面フッ素樹脂塗膜加工

付属品：ガラスふた

◆アルコール温度計

測定範囲：-5～+105℃

長さ：180mm

各製品の詳しい内容は、同梱の取扱説明書をご覧ください。

使用例

小学校

●ものの溶け方

- ・水溶液の温度を上げると溶け残った食塩が溶けるか調べる。

方法) 60℃の湯を作っておき、保温用容器の中にビーカーを入れてビーカー内の食塩水をかき混ぜる。



●だ液の実験

- ・温度によるだ液の働きを確認する。

方法) でんぷんとだ液を入れた試験管を試験管立てに立て、37℃で湯せんする。その後、ヨウ素溶液で、でんぷんの有無を確認する。



中・高等学校

●光合成の実験時の葉の漂白（エタノール 80℃）

方法）80℃程度の湯でエタノールを湯せんし、
葉を浸して脱色。その後、ヨウ素液にひたす。



●タマネギ細胞分裂の塩酸前処理（塩酸 60℃）

方法）タマネギ細胞分裂のプレパラート作成の際、60℃の湯で塩酸を湯せんし、
タマネギの根端を前処理する。
その後、染色液で染色、プレパラートを作成する。

他、簡易的なウォーターバスとしてもお使いいただけます。

その他の情報

●付属の保温用容器で使用可能なビーカー数の目安

500mL ビーカー	1つ
300mL ビーカー	1つ
200mL ビーカー	3つ
100mL ビーカー	4つ

●簡易操作方法ガイド

IH コンロのつかい方（定温モード）
（加熱モード）

A4 2 ページで印刷できます。



こちらの QR コードよりダウンロードできます